

核兵器廃絶・被爆者援護連帯2020年元旦行動

しずおか平和の風

No.57
2020年1月25日
発行
静岡市
平和委員会
静岡市葵区鷹匠
1-5-8
TEL 253-1854
FAX 252-0785
メール
Peace-City
@mail.707.to
ホームページ
https://
shizuoka-shi-
heiwa-iinkai.
jimdofree.com



上記のQRコードはHPにリンクします。

昨年(2019年)の11月20日、静岡市原水協の理事会で改めて高齢化が進む中での元旦行動の是非が話し合われ、「今年(2020年)はNPT(核不拡散条約)の再検討会議の年であり、核兵器禁止条約の成立を目指すためにも行動は必要だ」ということで、従来通り元旦の正午から1時間、浅間神社の赤鳥居前で街頭宣伝を行いました。

晴天に恵まれ、日なたは暑いくらいでした。初詣客は昨年より多いようで、交通整理の不手際からか、橋の上で入ろうとする人々や出ようとする人がぶつかりあ

い大変な混雑でした。参加者は市平和委員会の会長、県・市の事務局長・杉本市会議員・ニューヨークの世界大会へ参加する吉沢さん以下15名で、署名98筆、募金5232円を集めました。中でも小学生の少女が渋る母親を説得して募金に応じてくれたのが印象的でした。お札に手製のしおりを手渡しました。

県内では他に、御殿場市、三島市、磐田市、浜松市で元旦行動が行われ、参加者31名で署名189筆、募金23587円が寄せられました。(海野 順二)



2020年1月1日、浅間神社の赤鳥居前で街頭宣伝

つむじ風

今時の天気

最近の天気は変わっている。変わっている政治の下ではなんでも変わってくるのかも。

私が一番気にかけているのは食べ物である。一年に一度であります白菜の塩漬けを作ります。この頃は白菜をうまく作れないものだから買って漬けます。しかしこの2、3年いい白菜に当たったことがありません。去年は豊作で安くて良かったのですが消毒のようなにおいが気になって、イヤな感じでした。

今年は思い切って富士宮のファーマーズマーケットで買ってきました。値段はまずまずでした。いざ漬けようとしたところ、こまったことが出ました。まずは傷んでいるものがいくつかありました。いちばん困ったことは実がいりすぎているが多かったのです。白菜漬けは白菜を切るのではなく四つに割って漬けるので、つまっているのがうまく割れなくて困りました。正月に合わせるものだから作る方も苦労しているのだらうと思います。

白菜だけでなくすべてのものが、季節外れの天候で豊作を飛び越えて捨てることになっています。食べ物だけでなく体の具合も。早くまともな世の中にしたいですね。

望月 金一



昨年(2019年)は自然災害をもち、深刻な「気候危機」を回避し、戦争や殺戮のない平和で安定した生活を人々に約束する年になることを願った。だが、その希望は、年明け早々、イランに対するトランプ政権の挑発攻撃で砕かれた。

しかも、これに呼応して日本政府が、中東海域に自衛隊を派遣するという愚行が重なった。戦争は「最大のビジネス」とばかり、小躍りする者たちのおぞましい姿に、「強欲」資本主義の正体を見る思いである。昨年9月の国連気候行動サミットで行った、スウェーデンの16歳の少女グレタ・トゥンベリさんの怒りの訴えに胸を打たれた。「空虚な言葉」をもてあそんで、必要な温暖化対策を怠り、将来世代・若者にツケ回しをして「お金と経済発展」とばかりに熱中する世界の「大人たち」に対する激しい怒りである。「もしもあ

2020年に想う —佐藤 博明—

なれたたちが裏切ることを選ばなければ、私たちは決して許さない」という言葉は重い。その数カ月後のCOP25でも彼女は集会や街頭で訴え、世界に行動を呼びかけた。彼女の怒りの矛先は、アメリカや中国とともに日本にも向けられている。

9月の国連サミットで演説を拒否され、「気候変動問題はセクシー」などと捨てゼリフを残した小泉環境相は、12月のCOP25では脱炭素社会を「今世紀後半の」できるだけ「早期」に実現すると演説したが、温室効果ガスの削減目標の引き上げに消極的で、依然、石炭火力発電(電源構成32.3%)に固執し、G7各国で唯一その海外建設に手を貸す日本に、国際NGOは2年連続で「化石賞」を贈った。不名誉な受賞である。

核兵器禁止条約に背を向け、イラン核合意を放棄し、パリ協定から離脱するアメリカ・トランプ政権と、それにひたすら追随する安倍政権に人々の暮らしと地球の未来を託すことはできない。私たちの決意と行動が問われる、正念場の年となるのかと思う。

安倍9条改憲NO! 新署名運動始まる!

「改憲発議に反対する全国緊急署名」



新署名に協力する親子、1月19日

この1月から新たな署名運動が始まりました。3000万人署名運動(安倍改憲NO!憲法を生かす全国統一署名)を推進してきた全国市民アクションが、1月1日付で声明を出し全国に呼び掛けたものです。

安倍首相は期限を切った!

安倍首相は臨時国会終了後の記者会見で「必ずや私の手で成し遂げていきたい」と語り、自民党総裁任期の2021年9月までに実現する決意を語りました。

この改憲スケジュールからすれば、改憲発議は、あと3つの国会(2020通常国会、2020臨時国会、2021通常国会)のどこかで行われることとなります。

安倍首相は「時が来たと考えれば躊躇なく解散総選挙を断行する」と述べ、解散総選

挙で一定の結果が出れば、世論に支持されたと強弁し、改憲に反対している野党を分断し、いつきに発議に踏み切る可能性があります。事態は緊急です。

新たな「緊急」署名運動に立ち上がろう

今までの3000万人署名は、2年間にわたって取り組まれ世論を大きく変えてきました。その力を新たな緊急署名に引き継いでいきましょう。

新しい署名用紙をお届けします。必要な方はコピーをしてお使い下さい。300万人署名に協力してくれた人には勿論、さらには一回り広い層の人々にも呼びかけ緊急に行動しましょう。

毎月の9の日行動にご参加を!

- 9日・12時～ 青葉公園で街頭宣伝署名行動 (9条の会連絡会主催)
- 19日・17:30～ 青葉公園で街頭宣伝・パレード (戦争法の廃止を求めるオール静岡アクション主催)
- 29日・12時～ 青葉公園で街頭宣伝署名行動 (9条の会連絡会主催)

時代閉塞の現状と石川啄木

小林 三郎

地図の上朝鮮国に黒々と墨をぬりつつ秋風を聞く

新日本歌人協会静岡支部主催の「石川啄木祭」が毎年行われている。先年、石川啄木研究の第一人者といわれる近藤典彦先生をお招きして『大逆事件・時代閉塞の現状と石川啄木』なる講演をしていた。

今日現在のこの啄木歌とこの発言は「日韓問題・中東問題・英国とEU問題などを思うにつけ、彼の当時の心情と思想の発展を思い知らされるのである。

「時代閉塞」という言葉は「明日」はすでに少なかつた。「日本はダメだ」と絶望を募らせ、又貧困と病気にもがきながら1912年、明治の最後の年に彼は逝ったのである。

「時代閉塞の現状」は当時の啄木評論である。この中で彼は言っている。「明日の考察! これ実に我々が今日に於いて為すべき唯一である。そして又、総てである」と。しかし、この時彼自身の「明日」はすでに少なかつた。「日本はダメだ」と絶望を募らせ、又貧困と病気にもがきながら1912年、明治の最後の年に彼は逝ったのである。

大逆事件とは知られる通り、明治43年(1910年)明治天皇の暗殺を謀ったとして、社会主義者・無政府主義者の多数が検挙され、幸徳秋水ら12人が死刑になった現近代史の中でも突出した弾圧事件である。

近藤先生はお話の中で、この大逆事件に衝撃を受けた啄木は急速に国家批判に傾き、この年の日本による韓国併合を批判して、今日、啄木歌代表の『地図の上朝鮮国に黒々と墨をぬりつつ秋風を聞く』をつくったと言われた。

成程そういう事かと、私は改めて感じ入った次第であるが、今日特にこの歌に関連して注目したのは、この歌をつくった当時の啄木の民族観がある。民族・国家の問題を深く考えていたのである。先生のお話の中に、彼の若い友人

平和の動き 1～3月



- 1月29日(水) 9の日行動 青葉前 12:00～
- 2月2日(日) 平和委員会総会・北野豊氏講演 シズウエル13:00～
- 2月7日(金) ヒバクシャ署名 東急前 12:15～
- 2月9日(日) 9の日行動 青葉前 12:00～ 非核の政府の会総会・山本義彦氏講演 アザレア5階13:00～ 映画「ひろしま」
- 2月19日(水) 19日アクション 青葉前 17:30～
- 2月23日(日) 渡辺治氏講演 アザレア501室 13:30～
- 2月29日(土) 3.1ビキニデー全国集会 グランシップ他 13:00～
- 3月1日(日) 3.1ビキニデー墓参行進、墓前祭集会・焼津市文化センター